

岡みやま市立図書館(Tel 64-1117)  
 山川市民センター図書館(Tel 67-0401)  
 まいピア高田図書館(Tel 22-6655)

## 図書館公式SNSなど

みやま市立図書館  
ホームページ

ツイッター  
@miyamalibrary

インスタグラム  
@miyamalibrary

開館時間(全館):午前10時~午後6時

10月の休館日:4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、28日(木)

※最新の開館状況およびイベント情報は、図書館ホームページを確認ください。



## 10月27日から11月9日は読書週間 「最後の頁を閉じた 違う私が出た」

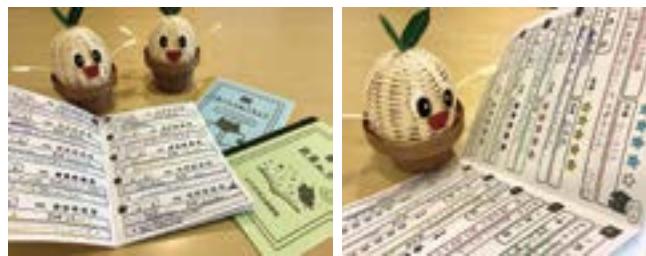
夢中で本を読み進め、最後のページを閉じるころ。それまでとは違う考えをもつようになり、ものの見方をしたり…。読む前とは確実になにかが変わっています。そんな世界をひろげる本との出会いを、図書館で見つけてみませんか？



## 10月のイベント・特設コーナー

### 全館共通

▶読書手帳プレゼント 23日(土)から ※なくなり次第終了  
 読んだ本の書名や感想などを記入して、自分だけのオリジナル読書手帳をつくってみませんか？  
 各図書館カウンターにて配布します。



### みやま市立図書館(瀬高館)

特設コーナー 一般 心と体を整える  
 児童 みあげてごらん おつきさま

### 山川市民センター図書館(山川館)

特設コーナー 一般 あなたの秋はどんな秋!?  
 絵本 生きもの だいしゅうごう!

### まいピア高田図書館(高田館)

特設コーナー 一般 「知りたい!」をシゲキする  
 児童 おいしいもの たくさん!

※今月のおはなし会や赤ちゃんおはなし会、図書館ピアノなどの定例のイベントは全館中止します。

## 新着図書

※所蔵していない本は、リクエストでできるだけお応えしていきます。お気軽にお尋ねください。

児童(み) **なまこのぼんぼん ~内田麟太郎・詩集~**  
 内田 麟太郎/著、大野 八生/絵  
 (銀の鈴社)  
 キリンがとおくをみている ヒルがじゃましてみえっこないのに それでも キリンはとおくをみている かげのふきわたるサバナを(「どうぶつえん」より)  
 子どもにもわかることばで真実の世界をうたう詩集。

児童(み) **SDGsでかんがえよう地球のごみ問題1 ~見すごせない!海洋プラスチック問題~**  
 井田 仁康/総合監修、保坂 直紀/指導  
 (童心社)  
 SDGsの観点から、地球のごみ問題を読み解く。1は、海洋プラスチック問題を取り上げ、海洋プラスチックに苦しむ生物たちの現状、プラスチックのこと、自治体や企業の取り組みなどを、写真を交えて紹介する。

絵本(山) **つちのこをさがせ!**  
 塚本 やすし/作  
 (新日本出版社)  
 お父さんに「つちのこは幻の生き物で、まだ見つからないんだよ」と聞いたたろうくん。友だちと一緒に探しにいけますが…。つちのこ探しへの子どもの情熱を迫力満点に描いた、読み聞かせにぴったりの絵本。見返しに記事あり。

絵本(山) **なわとびよ〜ん**  
 シゲリ カツヒコ/作  
 (KADOKAWA)  
 ケンタはなわとびが苦手。いばりんぼうのツヨシのことはもっと苦手。クラス対抗の「おおなわとび大会」が近いので、放課後、特訓だとツヨシが言い出した。ケンタは逃げ出すけれど…。苦手克服と友情をテーマに描いた絵本。

一般(高) **骨を撫でる**  
 三国 美千子/著  
 (新潮社)  
 土地と血縁に縛られつつ、しぶとくたたかき生きる者たちの姿を浮き彫りにした表題作と、早熟な子供たちと隣家の謎の少女との性と生の目覚めを繊細に描いた「青いポポの果実」を収録。『新潮』掲載を書籍化。

一般(高) **75歳までに身につけたいシニアのための7つの睡眠習慣**  
 遠藤 拓郎/著  
 (横浜タイガ出版)  
 シニアの睡眠に特化した本。7時間以上床にいない、うたた寝や午後の長い昼寝をしない、昼と夜の光を調節する…。睡眠の専門家が、朝までぐっすり眠れる科学的方法を伝授する。最新の研究に基づく快眠グッズも掲載。

※TRC週刊新刊全点案内より

(み)みやま市立図書館 (山)山川市民センター図書館 (高)まいピア高田図書館

岡学校教育課 学校教育係  
 (Tel 32-9026)



## 学びを変える文房具としての「1人1台」へ タブレット端末で新たな学びを実現

▶ペア学習に取り組む小学生



▶新たな授業風景

自分たちで撮影した写真を中心に、取材した地域のことを電子黒板を使用してグループ発表する小学生たち。写真の伝えたい部分を拡大したり、地元の人々の声を流したり、新しいアイデアを活用した発表を行っています。画面の操作・入力なども日々の授業で慣れていきます。社会のあらゆる場面でICTが活用される現在、将来を担う子どもたちの学習形態も変化しています。

ICT教育の始まり  
 文部科学省は、子どもたち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育、ICT環境の実現に向けて「GIGAスクール構想」に取り組んでいます。これを受けて市は、一人一台の学習に役立つ便利な道具として、小学生にはタブレット端末(iPad)を、中学生にはノートパソコン(Chromebook)の配置と学校に高速大容量通信環境(校内無線LAN)の一体的な整備を行い、令和3年度からICTを活用した新たな学びを始めました。

広がる可能性  
 児童生徒は、画面の操作や写真の撮り方などの基本的な端末操作から学習を始めています。タブレット端末を活用することで、子どもたち自身が検索して情報を収集・整理し、理科の観察や、体育や音楽の授業を動画に撮って確認するといった使い方が出来ます。また、タブレット端末を使う利便性だけでなく、情報漏洩の危険性やネットモラルなどを学び、ルールを守りながら安全にICTを活用した授業に取り組んでいます。



▲電子黒板でグループ発表する小学生



▲タイピング練習をする中学生

### 【用語集】

- ▶ICT 「情報通信技術」
- ▶GIGA 「全ての人への世界的・革新的な入口」
- ▶GIGAスクール構想 「1人1台の端末とICT環境の整備で、子ども1人1人に適した学びの実現を目指すもの」

## 地域に頼りにされる高校に!!

~みやま市に貢献し、みやま市を盛り上げる山門高校~

## やま盛

### 「山門高校一日書道教室」を開催



山門高校ホームページ

8月1日、みやま市内の小学3年生~6年生の事前申込者37人を対象に、書道部による「山門一日書道教室」が開催されました。書道部員が書道における正しい姿勢のとり方、筆の持ち方、バランスよく文字を書くためのコツなどを優しく丁寧に指導。最初は互いに少し緊張している様子でしたが、すぐに打ち解けていました。「正しい筆の持ち方はどちらでしょうか」などのクイズでは、その意外な答えを知った小学生から驚きの声があがっていました。



小学生が感想を発表してくれました

小学生の感想  
 ▼前よりも字がきれいになるように書いたの、で来てよかった。  
 ▼知らなかったことや、かっこいい書き方を教えてくれて嬉しかった。  
 ▼最初はどのように教えてよいか分からず困惑しましたが、自分が教えたことよって字が上手に書けた子もいて嬉しかったです。  
 ▼子ども達に教えることで、正しい書き方や上手に書くコツなどを再確認することができました。改めて、もっと字を上手に書けるようになりたいと思いました。

山門高校生の感想  
 ▼最初はどのように教えてよいか分からず困惑しましたが、自分が教えたことよって字が上手に書けた子もいて嬉しかったです。



かっこいい書き方を教えます